

第 16 回団体交流会（福祉関係）グループワークまとめ（1 班）

開催日時	平成 30 年 6 月 8 日（金）15:50～16:45
参加者	小川、仙波、岡田、安達、浜治、中島、松井 CN：中西
テーマ	“生活支援サービスにおける地域で出来ることは何か”（2025 年に向けて）
内容	<p>○地域の現状はどうか！</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域でのいろいろな活動状況を見ると、シニア層(平均 75 歳以上) 中心で古い付き合いの人たちで結ばれているが、高齢になりだんだん減少している。 (60 歳代の人が参加してこない) • 世代間交流がない。(世代を意識せず、自然と集まれる居場所が必要) • 次世代に繋がる取り組みがされていない。 • 自治会に若い世代の人が参加してこない。 • 課題解決に向けての取り組みがされていない。 • ご近所の付き合いが薄い。(話をする機会がない・きっかけがない) • サポートすることを考えているが、どうすればいいかわからない。 (活動の場がわからない) • 交通の利便性が悪い。 (地域差があるが、場所により非常に不便で、外出できない) (帝塚山学院大学/狭山キャンパスが泉ヶ丘に統合(2021 年予定)) • ゴミ出し、買い物外出等の支援体制がない) <p>○これから地域で何をすべきか、取り組むべきか！</p> <ul style="list-style-type: none"> • 若いとき(働いている時)から地域と交わり合える場を作ることが必要である。 (考えたら、実行に移すことが大事) • 誰もが集まることができる居場所づくりを行ない、そこから何でも話せる場ができるようにしていくことが大事である。 • 大きなイベント(年 1 回)だけに参加しても、それ以外の付き合いがない人が多いので、もっとコンパクトな参加しやすい環境づくりと居場所づくりを行なう。 • 第二の人生へのサポートをするために、現役(特に 55 歳以上)の時代から、地域に参加できる居場所をつくる。(みんなで工夫して、行政と協働で行う) • 自治会に参加しない人にも参加できる仕組みをつくる。(加入の必要性が理解してから参加してもらうことを考える。) • 多くの居場所をつくることで、お互いの気持ちが分かり、お互い様の精神もついてくるものと考える。 • 要は、人と人とのネットワークづくりである。(団体を立ち上げるのも個人間からはじまる)